



七月二十四日(月)
一学期終業式を行いました。
◆中野校長先生 式辞
四月六日にスタートした一学期。本日をもって七十四日間の授業日を予定通り無事に終えることができました。今年度は、新型コロナウイルスによる制限が緩和され、コロナ前の活動を取り戻すことができました。振り返ってみると、次から次へと大きな行事が計画されて

立校報
市形中
慈山校
久山校
学自標
自主・創造・躍進・敬愛

やまどり

第12号
令和5年7月24日(月)
文責：奥秀樹

有意義な夏休みを！

いて、皆さんも先生方も忙しく大変な思いをしたことと思います。しかし、それ以上に、皆さんの振り返りに綴られた充実感と達成感、一人ひとりの確かな成長と学校全体が教育目標の実現に向けて大きく前進したことを物語っていました。

はじめに、全校の心が一つになれたのが、五月の体育祭でした。三年生のリーダーシップの下、一人ひとりが自主の旗を掲げて活動し、そのエネルギーが「熱結」して感動的な体育祭となりました。山中だからこそできる素敵な体育祭でした。中総体は、まさに躍進の旗を高く掲げた大会となりました。これま



で先輩方がそうしてきたように、上級生が下級生への指導を丁寧に行い、三年生への感謝の思いを胸に、全校生徒が戦いに臨みました。目標を達成した部、叶わなかった部もありましたが、一人ひとりの頑張る姿、最後まであきらめずにチーム一丸となつて戦う姿は、山中の誇りでした。

各学年が取り組んだ、修学旅行、盛岡宿泊研修、山形野外活動

は、自分と故郷を見つめる地域学の視点と将来の生き方につながるキャリア教育の視点とをもち合わせた貴重な学びとなりました。写真に収められた、素敵な笑顔、仲間との触れ合い、そこには敬愛の旗が大きくひらめいていました。

生徒会活動では、NAR運動のほかに、生徒会レク、そして新たな取組であるGood Workと自分たちの生活をより高めるための取組が見られました。Good Workには、「いつもありがとう」、「君と過ごす時間が一番楽しい」等、宝石のような言葉がちりばめられ、理想の学校像がそこに見えてきました。また、今年の合唱活動は、学習・合唱委員会を中心に生徒会の活動として進められました。専門的な指導が難しい環境の中で、みなさんは美しいハーモニを会場に響かせました。ぜひ、これからも「生活を見つ



め、協力して新しい文化をつくる創造の旗」を大きくなびかせ、活発な生徒会活動となることを期待しています。

通知表についてもお話しします。校長先生は、皆さん一人ひとりの通知表をしっかりと確認しました。皆さんが一番に気になったのが、やはり教科の成績だったでしょうか。良かったと感じた人もいれば、勉強はいやだなあと感じた人もいます。もしもありません。でも、学力だけで人は評価されるわけではありませぬ。Aさんは、誰にでも分け隔てなく公平公正に接している、Bさんは、何事にも積極的

に一生懸命に取り組んでいる等、校長先生にめ、協力して新しい文化をつくる創造の旗」を大きくなびかせ、活発な生徒会活動となることを期待しています。

は皆さん一人ひとりの頑張る姿が浮かんできました。校長先生は、みなさんにいろいろな学習を通して、総合的に「生きる力」を身につけてほしいと願っています。そのために大事にしてほしいのは、「目標や課題解決に向けて、粘り強く取り組む学習や経験をたくさん積むこと」です。二学期も、授業や行事など、いろいろな活動に積極的に粘り強く取り組んでいきましょう。

最後に、夏休みに期待することを話して終わります。三年生は、以前にも話をしましたが、将来どんな生き方をしたいのか、どこを考えながら、これからの進む道を考えていきましょう。皆さんの未来は可能性にあふれています。一・二年生は、生きる力の基礎となる勉強と部活動の両立を果たしましょう。宿題を計画的に終わらせ、実力テストに向けた自主学習にも取



り組む。また、特設陸上で体を鍛え、部活動で基礎・基本となる技術をしっかりと身につけましょう。

それでは、二学期の始業式で更なる成長を遂げたみなさんと再会することを楽しみにしています。

ALITのダコタ・デイベイツ先生が、八月で任期を終え、アメリカに帰国することになりました。山中最終日となった二十一日(金)に、離任式を行いました。校長先生と下館春稀生徒会長から英語での感謝のスピーチの後、全校エールとアーチで感謝の気持ちを伝えました。

ありがとう
ダコタ先生

ALITのダコタ・デイベイツ先生が、八月で任期を終え、アメリカに帰国することになりました。山中最終日となった二十一日(金)に、離任式を行いました。校長先生と下館春稀生徒会長から英語での感謝のスピーチの後、全校エールとアーチで感謝の気持ちを伝えました。



◆一学年代表 下館 愛桜
 私たちが入学して、約三ヶ月がたちました。いろいろな行事がありましたが、一番の思い出は、体育祭です。初めての体育祭で、楽しみな気持ちと不安な気持ちでいっぱいになりました。でも、先輩や仲間と協力し、頑張りました。係や学級の仕事、いろいろな種目の練習などたくさんありました。通常の授業もあり、活動時

間が多くない中で先輩や仲間と頑張ることができました。種目では、選抜リレーが印象に残りました。選ばれたのはすごくうれしかったのですが、とにかく緊張しました。バトンの受け渡しをたくさん練習しました。本番ではミスすることなく、みんなで走り切ることができました。とてもうれしかったです。はじめは不安だった中学校生活ですが、何事にもあきらめずに挑戦し、仲間と協力することができました。二学期からも、何事にも一生懸命取り組み、仲間と協力し、挑戦していきたいと思います。



◆二学年代表 佐々木 空
 「先輩になる」私たち二年は、右も左もわからなかった去年とは違い、一学年の良き手本となることを目標に活動してきました。一学期は体育祭や中総体、宿泊研修など大きな行事がたくさんありました。それらの行事を通して、少しずつ「先輩」としての意識を持ち、活動することができました。また、他の人の良さに目

を向けられるようになったことも、大きな成長だと感じます。しかし、話し合いが足りなかったり、見通しや想いの共有が出来ていなかったりすることもありました。二学期には、新人戦や職場体験など二年生が中心となる行事や、山形中文化祭、県総文祭など、多くの人達と交流する機会が増えてきます。同じ方向を見つめ、二年生としてそして山中生として、自分の行動に責任を持ち、周りへ気を配りながら生活していきたいと思います。



◆三学年代表 佐藤 遥音
 私たち三学年は、学習面では、特に苦手な教科への取り組みを意識しました。夏休みは、それぞれの進路実現に向けて、苦手教科を中心に、三年生の学習だけでなく、一年生からの復習も頑張ります。生活面では、特に切り替えを意識しました。最高学年として切り替えを意識している姿を見せたいと思い、少しずつ切り替え

が素早くなってきたと思います。しかし、まだ切り替えができない場面もあるので今後も意識していきます。今後は、一つ一つの生活態度を見直しながら、よりよい学年を目指していきます。行事では、特に修学旅行が印象に残りました。東京ならではの事など、たくさんの学びがありました。これからも、学んできたことを生かしていきたいと思います。この夏は、今学期学んできたことを生かし、受験生としての意識を高め、学習では時間を、生活では規律を大切に、さらなるレベルアップを目指します。



◆生徒会代表 大上 煌魁
 一学期は、特に大きな行事として体育祭と中総体がありました。体育祭では、短い練習期間の中で組団で仲間との絆を深め、本番では全員が心を燃やし全力で取り組む事が出来ました。さらに、中総体では各部で勝利を目指し、毎日全力で練習に励みお互いに高めあうことが出来ました。生活面では、明るい挨拶が増えてき

ました。二学期も継続させていきたいです。しかし、まだ一回で話を聞けていない時もあります。集中する場面とそうでない場面の切り替えを意識して、生活していきましょう。これから夏休みに入ります。一年生は、中学校生活初めての夏休みなので生活リズムを整えましょう。二年生は、部活動と勉強を両立させ、自分から積極的に行動しましょう。三年生は、受験に向けて夏休み中の学習も計画的に進めていきましょう。これからも、笑顔があふれ、明るく楽しい学校を全校でつくっていきましょう。



二十七号砲
 地区駅伝